

まぼろしへのかけはし

基本理念 希望のある医療

心理外来のご紹介

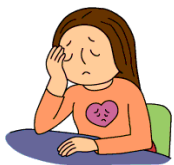
当院では、平成7年より心理外来を開設しており、成人の方やお子さまへのカウンセリングや、心理療法、また発達・知能・人格面の各検査などを臨床心理士がおこなっています。

地域の皆さまや他の医療機関、福祉・教育機関など、院外からも「心」に関する様々なご相談をいただいております。

1. どんな時に相談したらいいの？

「カウンセリング」や「心のケア」など、言葉は、よく耳にするようにはなったものの、実際にはいまひとつどんな時に相談したらいいのかわからないか迷うものだと思います。

主なご相談内容は、



うつや心身症などさまざまな心身の健康面に関すること
ご家庭・学校・職場などでの対人関係における問題や悩み
子育て・不登校・発達の問題などお子さまに関すること
治療・入院中・手術前後のご不安について などです。

上記のようなことで、お困りのことや気がかりな点がありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

来談者やご家族の方々が解決の糸口を見出すことができ、よりよく生活していけるように、きめ細やかな心理的専門援助を提供してまいります。

2. 相談のご希望・依頼について

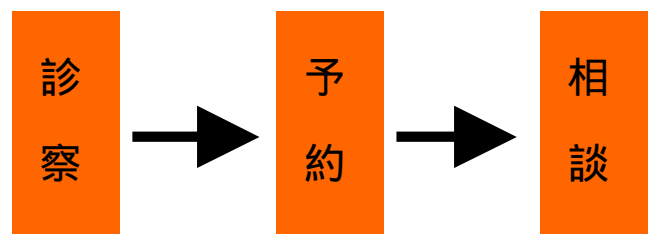
相談をご希望される場合は、下記のような流れになります。

心理外来は、完全予約制です。

16歳以上の方は、**外科(水曜・金曜のみ)**

15歳未満の方や保護者の方は、**小児科**

に、お越しください。



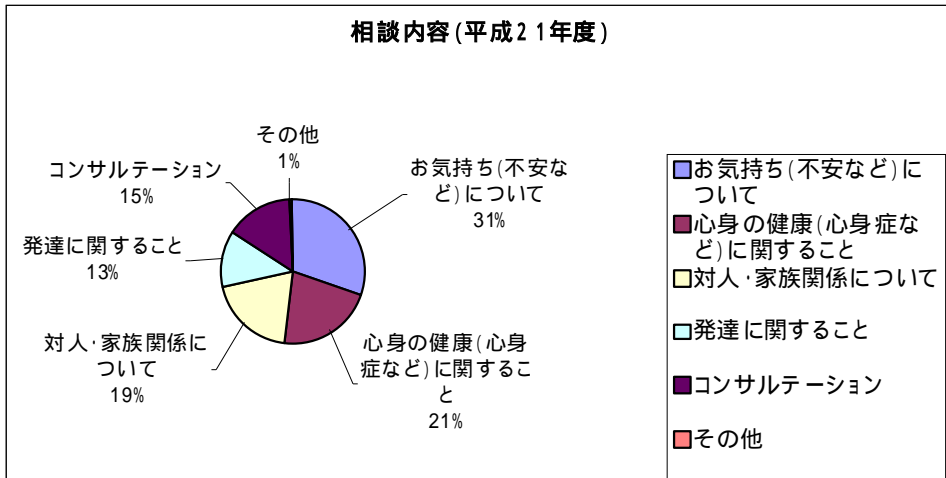
(注)精神医学的な診断・投薬はできませんが、必要と判断された場合は近隣の専門医療機関などとも連携をとってまいりますので、まずは、お気軽にご相談ください。

【週間予定表】

	月	火	水	木	
午前・午後	河野	河野	河野	河野	林

3. 昨年度の活動実績

平成21年度の相談総数は、737件でした。院内各診療科のほか、近隣の医療・福祉・教育機関からもカウンセリングや心理療法、心理検査などのご相談をいただいております。



相談内容については、左記のとおりとなっています。

お気持ちや心身の健康面・人間関係に関する相談が多く、心理相談の特色が反映された結果となっています。

皆さま方へ

昨今の社会環境の急速な変化の中では、どの年代の方々にとっても色々と厳しい状況が続いていることと思います。人の心は、あまりにも強い刺激を受けたり、環境に合わせて自分を抑えることが続いたりすると、心が限界状態となり、それまでの対処法では乗り切れなくなってしまうことがあります。このような時に、その人が心と身体のバランスを取り戻し、時にはそれまでよりも心の幅を広げて新しい対処や視点を見つけていけるようお手伝いをさせていただくところが心理外来です。

ひきつづき、微力ではありますが、東播磨地域のみなさまに開かれた「心の相談」をこころがけてまいりますので、是非お気軽にご相談ください。

心理外来担当 河野晃子・林佐知子

(臨床心理士、兵庫県臨床心理士会会員、日本心理臨床学会本会員)

看護局感染委員会のご紹介

感染委員会では、私たちの手で患者さまを守るため、触れる前後に手洗いをし、エプロン・ガウン・マスク・手袋をつけ院内感染を予防する活動をおこなっています。

医療現場のチェックのため、院内ラウンドを月1回実施してスタッフへの指導もおこなっています。

さらに、ICT(:Infection Control Team)ラウンドを月2回実施して、主治医との連携を持ち患者さまの治療方針を決定しています。

そして、年3回感染に関する勉強会をおこないスタッフの知識の習得と技術の向上に努めています。



(活動報告会の様子)

スプリングコンサートを開催します

皆さまのご来場をお待ちしております。

日時 平成23年3月18日(金)
16:00~

場所 玄関ホール

「きぼうへのかけはし」に関するお問合せは、
地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
TEL 079-442-3981(内線5146)
FAX 079-443-1401
ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>